

各地駐車協会だより

■ 岡山 こんなところ あんなところ

岡山駐車協会 会長 藤井一也

岡山駐車協会の紹介

岡山駐車協会は、昭和46年(1971年)11月に設立されました。この年は翌年の新幹線岡山開業を控え、また岡山市内中心部が全域駐車禁止になる見通しであったことから、交通渋滞や駐車場不足が予測されていました。その解消の受け皿となる駐車場を経営するものが団結してこの問題に取り組み、駐車難の緩和と都市交通の円滑化を目的として設立されたものであり、岡山県、岡山県警本部、関係行政機関ならびに岡山市の絶大なご支援を頂きまして、49駐車場で誕生し、以来53年が経過致しました。

一時は、62団体78駐車場6110台収容の規模にまで成長し、昭和54年には全日本駐車協会秋季駐車場研修会が岡山で開催され、昭和63年には瀬戸大橋開通に合わせて全日本駐車協会通常総会も開催されるなど、活発な活動を進めてまいりましたが、現在では14会員(17駐車場)、3賛助会員で構成されております。石油ショック、バブル崩壊や都市再開発による平面駐車場、タワー駐車場の減少、コインパーキングの増大等、駐車協会の会員も不況の荒波には勝てず、あっという間に減少してしまいました。また、コロナの影響もあり、総会・懇親会・ゴルフ大会等、活動が制限され、各社担当者の交代もあり活動自体が思うように出来なかったと感じる今日この頃です。今後は原点に戻って、行政に対して、街づくりに対して、駐車協会の面々に対しても駐車協会の意義と交流、親睦を深めていきたいと思っております。

また、創立50周年をコロナの影響で開催する事が出来なかった事、残念な思いであります。是非、3年後の創立55周年を目指し、歴史を残す為にも、記念誌の発行、会員相互の親睦や駐車場運営の健全な発展、交通行政及び市街地の活性化に寄与する事を目的とし、また、全日本駐車協会との情報を共有し、岡山駐車協会の益々の発展を図ってまいりますので、引き続き皆様のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

岡山の紹介

岡山県は、山陽道の中央に位置し、東は兵庫県、西は広島県、北は山陰地方、南は瀬戸内海を臨んで四国に接していて、中四国の交通の要衝になっています。新幹線をはじめ、東西南北につながる鉄道、高速道路など交通基盤が充実しています。

また、古くは古代吉備文化発祥の地として、桃太郎伝説、温羅伝説の吉備の国として栄えました。

県北部は中国山地と盆地、中部は吉備高原など丘陵地、南部は平野に大きく分けられます。

特に北部は湯郷・湯原・奥津などの温泉に、南部は多島美に恵まれた瀬戸内海国立公園が広がります。中国山地を水源とする3つの河川(吉井川・旭川・高梁川)が良質で豊かな水を常にたたえています。

各県でもキャッチコピーがつけられているようですが、岡山のキャッチコピーは、「晴れの国おかやま」です。その理由として、①「晴れの日が多い」、②「温暖な気候で災害が少ない」、③「美味しいものが多い」、④「自然がいっぱいある」という事でこのキャッチコピーになりました。

また、あっ晴れ岡山人として、宮本武蔵・山田方谷・雪舟・竹下夢二・大山康晴・犬養毅・土方敏夫・藤原啓・平櫛田中・正宗白鳥 他、色々書きましたが何人ご存知でしょうか？法然や栄西を生んだ地として、黒住教教祖 黒住宗忠、金光教教祖 金光大神が出ている事も注目すべき事と思います。私は、浄土真宗ですが…。

食べ物も 果物王国ですから、白桃とマスカット、ピオーネ等ふんだんにあります。特に、清水白桃のおいしさは日本一だと個人的には思っています。魚は、鱈の消費量が日本一だと聞いております。本当によく食べます。

あと、観光については、私の個人的な意見として紹介したいと思います。

岡山の観光スポット

①岡山城

岡山城は、1573年に戦国大名の宇喜多直家に移り、病没後に継いだ宇喜多秀家は羽柴秀吉の保護を受け50余万石を領有する大名となり、1590年に岡山城の大改修に着手し、城下町の整備などもおこなわれました。安土城を模したといわれる天守閣は3層6階構造で、黒い下見板の外見から「烏城」からす城とも呼ばれています。



岡山城

②後樂園

後樂園は、姫路城主の初代岡山藩主 池田光政、二代藩主 池田綱政によって、城の背後に築庭されました。水害に遭いやすかったこの地を新田開発、百間川・倉安川の整備によって郡部開発した時の副産物として出来た後樂園ではありますが、園内に能舞台があり家臣の妻子や領民までも呼んで能を見せたり、庭園を公開していました。300余年前に出来た明るく広々とした庭園は多くの人に愛され、現在も心の休まる空間として親しまれています。ちなみに、水戸の偕楽園、金沢の兼六園、岡山の後樂園は、日本三大名園と呼ばれています。



後楽園



後楽園 遊覧クルーズ

③岡山城・後楽園近辺の美術館他 文化ゾーン

岡山城・後楽園近郊には、多くの文化ゾーンがあります。岡山県立美術館、オリエント美術館、林原美術館、竹下夢二郷土美術館、県立博物館、そして岡山カルチャーゾーン、県立図書館等があり、美術館巡りも結構楽しめると思います。途中に、お城の周りを廻る旭川遊覧クルーズもあり、ゆったりとした気持ちでクルーズを楽しむのもいい体験になると思います。

④美観地区

もう一つの観光名所は、倉敷市にある大原美術館とその周辺にある白壁の街、美観地区です。その中にある倉敷アイビースクエアは、元々倉敷紡績所だった所です。中にはホテル、レストランがあり、中庭では屋外でも飲食出来ます。他にも商店街アーケードがあり、新旧の商店シャッター街からの少しだけの変化を見るのも面白いと思います。美観地区のお土産店や大原美術館は夏でも17:00頃には閉店するので、個人的には19:00頃まで営業してほしいと思います。美観地区は、今では新しい施設が多く改修され、人力車あり、堀を舟が行き来し、一大観光名所になっております。

最初に岡山に来たら後楽園に行き、そして倉敷美観地区が一般的な観光コースです。近年は、瀬戸内芸術祭が3年毎に開催され、多くの観光客が訪れています。

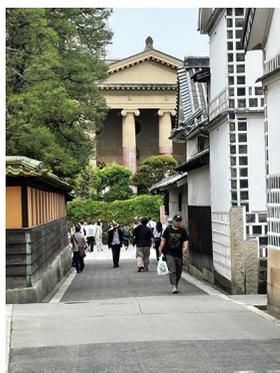
以上が簡単ですが岡山の紹介とさせていただきます。



カルチャーゾーン地図



美観地区 舟



大原美術館



アイビースクエア



人力車